

佐野短期大学シラバス2013

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
公衆栄養学概論 Public Nutrition		2年	前期	金曜日・2限
単位数	授業の形態		授業の性格	
2単位	講義		選択 (栄養士資格必修)	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
Public Nutrition				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
栄養士資格取得に必要な科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
川田 容子	非常勤講師室	金曜日・2限前後の時間帯	授業中に指示します	
授業の概要				
この授業では、公衆栄養学とは何か、その意味・内容について理解するように学ぶ。地域等の健康、栄養問題とそれを取り巻く諸問題に関する情報を収集、分析し、総合的に評価判定する能力を身につけることを目的とする。日本の健康、栄養問題の現状、課題とそれらに対応した栄養政策について理解する。				
授業の到達目標				
○公衆栄養の意味、内容について理解できるようにする。 ○健康・栄養問題とそれを取り巻く社会的要因に関する情報等进行分析し、行われている公衆栄養活動を理解できるようにする。 ○公衆栄養マネジメント等多分野にわたる学習により、公衆栄養活動の重要性を理解できるようにする。				
授業の方法				
各授業テーマに沿った資料を用いた講義、より理解を深めるための視聴覚教材も用いる。課題を授業内小レポートとして提出させることで理解度を確認することもある。				
学習の成果				
健康・栄養問題や食に関する社会の実態を正しく理解するとともに、栄養政策について基本的事項を学ぶ。そして栄養士、管理栄養士が担うべき役割を自ら考えることができる。 ・栄養士養成課程で学ぶ知識や位置および、栄養士としての仕事について理解することができる。 ・自分の視点で栄養課題を考え理解することができる。 ・自分の栄養士としての業務の有り方を考え、理解することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス(授業のねらいと進め方・成績評価等の説明) 公衆栄養の概念 公衆栄養活動の歴史			
第2回目	公衆栄養の現状と問題点を探る ～人口問題・健康問題を考える～			
第3回目	公衆栄養の現状と問題点を探る ～栄養課題を考える～			
第4回目	県民健康調査の結果から地域の問題を考える			
第5回目	公衆栄養政策 公衆栄養行政とその役割、関係法令の位置づけ			
第6回目	栄養疫学 栄養疫学の概要と調査・研究			

第7回目	食事摂取基準とは	
第8回目	公衆栄養行政 健康づくりのための指針	
第9回目	公衆栄養行政 健康増進の基本方針と地方計画	
第10回目	公衆栄養行政 食育の基本方針と地方計画	
第11回目	公衆栄養マネジメント 公衆栄養の考え方とすすめ方	
第12回目	公衆栄養プログラムの実際 母子保健対策、学童・思春期対策	
第13回目	公衆栄養プログラムの実際 成人病対策、特定健康診査・特定保健指導、高齢者対策	
第14回目	公衆栄養プログラムの実際 食環境づくり	
第15回目	公衆栄養のまとめ及び定期試験	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	授業に臨む態度で評価する。 授業に集中しノートを取っている。ディスカッションの場で自分の意見を述べている。授業中の態度一般(不要な離席、不要なおしゃべりをしない等)
レポート	20%	課題について、詳細に調べている、課題の要件を十分満たしている。
調査報告書		
小テスト		
中間・学期末試験	60%	点数による評価とする。
発表内容(態度含む)		
その他		
教科書と参考図書		
教科書 ウエルネス 公衆栄養学 第8版 参考書 日本人の食事摂取基準		
履修上の心得・ルール		
・2/3以上の出席が単位履修条件である。 ・遅刻の状況によっては欠席となる場合も。 ・基本的授業履修条件は他に同じ。		